

第19回新潟運輸協定期委員会開催！

新潟運輸協議会は、2009年11月29日(日)～30日(月)の一泊二日の日程で「ウェルサンピア新潟」において役員・委員・傍聴者合わせて30名を超える参加で第19回定期委員会を開催しました。



座長に、長谷川さん(長岡車両センター)を選出し、進められました。

新潟運輸協・石津議長の挨拶は、

昨年(2008年)の定期大会以降、役員体制も確立し運動を進めてきました。

手探りの部分もあるが、交流会参加を中心にみんなで参加できるようこれからも頑張っていきます。運輸協は、大会以降、検修・運転分科を立ち上げそれぞれ専門分野の活動を主に会議も行ってきました。

検修の全面的な外注化が提案されているが、これについての対応もしっかりやっていきたいという決意も述べられました。

来賓として参加した新潟地本・田澤書記長からは、新潟地本として取り組んでいる運動の報告、また、検修外注化問題についても触れ、この間支社と話をしてきた内容や新潟地本も定期大会で新たな役員体制を確立し、これから一歩前進するために奮闘していく決意を表明しました。



新潟貨物協・勝山議長からは、貨物職場の現状が話され、国労の運動スタイルとして「おかしいことに対しては素直におかしいと言える当たり前の運動をこれからも進めていこう」という決意も込めた発言をいただきました。

東日本運輸協・木立議長からは、主に検修外注化提案の詳細な内容と、これに対する東日本本部・東日本運輸協議会として今後取組みの報告と、東日本運輸協として力を入れ取り組んでいる安全問題についての報告がありました。

やはり、議論の中心は検修外注化問題！

全体討論では、やはり検修外注化問題について多く出され、今でも部品調達の手配が遅れている中、どうなるんだろうかと心配。利用者を巻き込む運動を作れたらいいが、どうか。貨物から出向でJR東に来ている扱いはどうなるのか。インフルエンザ対策について。等々の発言があり、それぞれ答弁できるところはしていただきました。



その中、外注化問題では木立議長から他労組もあまり騒いでいないし、国労もまだまだ職場集会・学習会が足りていない。職場から他労組を刺激し、検修職の総意で外注化には反対だの声を大きくしていかなければならないとの発言もありました。



全体討論を終え、役員改選については今年度も引き続きこのメンバーでやって行きたいとの提案が出され、了承されました。

その後、「運転」・「検修」それぞれの分科会を場所を変えて行いました。

検修分科会では今回の検修全面外注化に対して多くの意見・質問が出されました。

全体的なイメージがわからない。

それぞれのパートでの問題点指揮命令系統での、偽装請負になりかねない具体的な内容。

貨物職場での検修業務の外注化時の状況から見る検証。

入換業務における現在の委託状況。

様々な問題点が浮き彫りになる中、改めて外注化された場合の大変さを実感し合いました。また、現在委託されている業務でも、指示がJR本体からJR社員と委託社員共に行っている現実が出され、明らかに偽装請負となる行為が出されました。会社側は、コンプライアンスは守るとしてはいますが、言葉だけになっていることをみんなで確認し合いました。

夕食・交流会では、職場での運動や他労組の動き等情報交換なども行い懇親しました。

2009年新潟運転協議会役員

議長	石津 淳二	(新津運輸区)
副議長	長沢 浩之	(新潟運輸区)
副議長	桑原 明彦	(東新潟機関区)
事務長	田辺 栄浩	(新潟運輸区)
事務次長	土田 宏	(新潟車両センター)

今年一年よろしく
お願いします!

新潟運転協議会は、来年の東日本交流会の準備地本ということで、仲間のみんなを向かえる準備を今から考えていることも出されました。来年は皆さんの参加を宜しくお願いします!

私たちは、2013年の4月2日以降65歳まで無年金になるというこの時代を、体力にあった、健康を維持できる仕事を会社が責任を持って用意することで、安心して働ける職場の確保と、安全・安定輸送が確立できることを念頭に置きお互い奮闘していきたいと思えます。皆さん共に力を合わせて頑張りましょう!